



2022年4月21日

各 位

会社名 Oakキャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 稲葉 秀二  
(コード：3113 東証スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員 IR・PR 室長 小玉 誠一  
(TEL. 03-5412-7474)

**(開示事項の変更) 株式会社ユニヴァ・ペイキャストとの株式交換の延期  
及び株式会社ユニヴァ・ジャイロンの株式取得による子会社化の検討開始に関するお知らせ**

当社は、2021年12月15日付「当社と株式会社ユニヴァ・ペイキャストとの株式交換に関する基本合意書締結のお知らせ」にて、2022年6月15日(予定)で、当社を完全親会社、株式会社ユニヴァ・ペイキャスト(以下「ユニヴァ・ペイキャスト」という。)を完全子会社とする株式交換(以下「本株式交換」という。)を行うことについて基本合意書を締結したことを公表いたしました。しかしながら、2022年4月21日(本日)開催の取締役会において、本株式交換の実行を延期するとともに、ユニヴァ・ペイキャストの傘下にある株式会社ユニヴァ・ジャイロン(以下「ユニヴァ・ジャイロン」という。)を先行して子会社化すべく、同社の発行済株式の86%を株式譲渡(以下「本株式譲渡」という。)により取得することについて検討を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本株式交換の延期および本株式譲渡の検討開始の理由

当社とユニヴァ・ペイキャストは、本株式交換によるユニヴァ・ペイキャストの完全子会社化に向けて準備を進めてまいりましたが、ユニヴァ・ペイキャストが強みとするインバウンド決済について、新型コロナウイルス感染症の収束の遅れからインバウンド関連のリテール決済収益の回復までになお時間を要すると判断し、協議を重ねた結果、完全子会社化の時期及び実行の是非等についての見直しが必要であるとの結論に至ったため、本株式交換による完全子会社化の実行を延期し、本株式交換の実行の是非等について検討を継続することを決定いたしました。

一方、同社傘下にあるユニヴァ・ジャイロンにつきましては、SaaS型収益モデルとして、20,000以上のウェブサイトへの提供実績を有するデジタルマーケティングツールの提供により成長中であり、2022年3月期では黒字化の見込であります。当社事業戦略の一つである「新たな事業ポートフォリオの構築」において、デジタルマーケティングの親和性が高い分野では、その知見活用により売上・利益の向上への貢献が期待できることから、同社を独立して当社の子会社とすることが、当社の「開発型ビジネス」の早期推進に資するものと考えられるため、当社グループの企業価値の向上を目的に、先行して本株式譲渡により子会社化することの検討を開始することといたしました。

## 2. 本株式譲渡に係る公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置について

本株式譲渡の売主となるユニヴァ・ペイキャストは当社の支配株主等ではないため、本株式譲渡は、当社にとって、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 441 条の 2 における「支配株主との重要な取引等」には該当いたしません。しかしながら、当社の代表取締役である稲葉秀二氏が、ユニヴァ・ジャイロンの親会社であるユニヴァ・ペイキャストの代表取締役及びユニヴァ・ペイキャストの発行済株式の約 93.3%を保有する親会社である UNIVACAPITAL Holdings Limited (以下「UCH」という。)の CEO を兼任するとともに、UCH の約 49%の株式を保有する株主でもあることから、当社といたしましては、本株式譲渡に係る意思決定については一定の構造的な利益相反関係があり、本株式譲渡の公正性を担保する必要があると判断すべき事情があると考えておりますので、以下の公正性担保措置及び利益相反回避措置を講じる予定です。

当社は、2021 年 12 月 15 日付「当社と株式会社ユニヴァ・ペイキャストとの株式交換に関する基本合意書締結のお知らせ」でもお知らせいたしましたとおり、本株式交換の検討に当たっても公正性担保措置及び利益相反回避措置を講じており、引き続きこれらの措置を講じていく予定ですが、本株式譲渡の検討に当たって講じる以下の各措置は、本株式交換に関して講じてきた各措置と基本的に同様の枠組みとなります。なお、以下の通り、本株式交換の検討の過程で、ユニヴァ・ペイキャストの子会社であるユニヴァ・ジャイロンの子会社化についての検証等も実施されており、これらは本株式譲渡の検討における公正性担保措置及び利益相反回避措置としても有用なものとなります。また、本株式交換の検討にあたって、引き続き公正性担保措置及び利益相反回避措置を講じていく予定です。

### (1) 公正性を担保するための措置

当社は、本株式譲渡の実施に当たり、意思決定過程における恣意性を排除する観点から、当社及びユニヴァ・ペイキャストから独立した第三者算定機関である株式会社財務戦略ナカチから、ユニヴァ・ジャイロンの株式価値算定書の提出を受ける予定です。

また、当社は、本株式交換及び本株式譲渡に関する当社のリーガル・アドバイザーとして、当社及びユニヴァ・ペイキャストから独立した TMI 総合法律事務所を選任し、法的な観点から意思決定方法を含む諸手続及び対応等について助言を受けており、本株式譲渡について今後も引き続き助言を受ける予定です。

### (2) 利益相反を回避するための措置

当社は、ユニヴァ・ペイキャストとの間に利害関係を有する者を除くメンバーによる本株式交換に係るプロジェクトチーム (以下「本プロジェクトチーム」という。)を組成しておりますが、本プロジェクトチームにおいて、本株式譲渡に係る検討も進めており、今後も進めていく予定です。

また、ユニヴァ・ペイキャストの代表取締役を兼務している稲葉秀二氏は、利益相反回避の観点から、基本合意書の締結を含む本株式交換に係る契約の締結に向けた取締役会の審議及び決議に参加しておらず、今後も参加しない予定ですが、同様に、本株式譲渡に係る契約の締結に向けた取締役会の審議及び決議にも参加しておらず、今後も参加しない予定です。

さらに、当社は、2021 年 9 月 22 日付で、当社及びユニヴァ・ペイキャストからの独立性を有しており、かつ、当社事業に対する識見も高い、社外取締役伊藤祐之氏及び尾関友保氏並びに社外監査役坂井眞氏を構成員とする特別委員会 (以下「本特別委員会」という。)を設置し、本株式交換が当社の少数株主に不利益でないか等について諮問しておりましたが、本株式譲渡の検討開始に当た

り、本日付で、本特別委員会に対し、(a)本株式譲渡の目的の合理性、(b)本株式譲渡の取引条件の妥当性、(c)本株式譲渡の手続の公正性、(d) (a)から(c)を踏まえ本株式譲渡が少数株主に不利益でないこと、及び(e) (a)から(d)を踏まえ本株式譲渡の是非についても諮問いたしました。なお、特別委員会においては、本株式交換に係る検討においても、ユニヴァ・ペイキャストの子会社であるユニヴァ・ジャイロンを子会社化することについては実質的に検討の対象となっておりますが、株式譲渡へのスキームの変更が生じることに鑑み、改めて本株式譲渡に係る上記(a)乃至(e)の事項についても諮問したものととなります。

当社は、本特別委員会から、2022年5月13日に予定している当社取締役会の本株式譲渡に係る契約の締結に関する決議までに、上記諮問事項に対する意見を記載した答申書を取得する予定です。

### 3. ユニヴァ・ジャイロンの概要

(1) 商 号	株式会社ユニヴァ・ジャイロン		
(2) 所 在 地	東京都港区六本木3丁目16-35 イースト六本木ビル2F		
(3) 代 表 者	代表取締役社長 島津 久厚		
(4) 事 業 内 容	デジタルマーケティング支援を目的としたツールベンダー		
(5) 資 本 金	10百万円		
(6) 大 株 主	ユニヴァ・ペイキャスト 86.0% ユニヴァ・ジャイロン現任取締役 (計3名) 14.0%		
(7) 設 立 年 月 日	2020年4月1日		
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
			2021年3月期
純 資 産			△8百万円
総 資 産			54百万円
1株当たり純資産			△40,182.67円
売 上 高			151百万円
営 業 利 益			△22百万円
経 常 利 益			△23百万円
当 期 純 利 益			△23百万円
1株当たり当期純利益			△112,035.09円
1株当たり配当金			－円

4. 本株式譲渡の相手先の概要

(1) 商 号	株式会社ユニヴァ・ペイキャスト		
(2) 所 在 地	東京都港区六本木三丁目 16 番 35 号		
(3) 代 表 者	代表取締役会長 稲葉 秀二 代表取締役社長 中尾 周平		
(4) 事 業 内 容	金融決済事業		
(5) 資 本 金	53 百万円		
(6) 大 株 主	UNIVA Capital Holdings Limited 84.9% 他		
(7) 設 立 年 月 日	2001 年 11 月 6 日		
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	当社代表取締役である稲葉秀二氏は、ユニヴァ・ペイキャストの代表取締役を兼務しております。	
	取引関係	該当事項はありません	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	2019 年 3 月期	2020 年 3 月期	2021 年 3 月期
純 資 産	329 百万円	365 百万円	338 百万円
総 資 産	2,423 百万円	867 百万円	1,871 百万円
1 株 当 たり 純 資 産	137,755.26 円	152,632.79 円	141,513.18
売 上 高	2,640 百万円	2,681 百万円	2,545 百万円
営 業 利 益	26 百万円	△3 百万円	△48 百万円
経 常 利 益	37 百万円	△42 百万円	△40 百万円
当 期 純 利 益	△11 百万円	66 百万円	△27 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△4,749.85 円	27,435.09 円	△11,119.61 円
1 株 当 たり 配 当 金	－円	－円	－円

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数: 0 個 / 議決権所有割合: 0.0%)
(2) 取 得 株 式 数	172 株 (議決権の数: 172 個 / 議決権所有割合: 86.0%)
(3) 取 得 価 額	未定 ※決定次第お知らせいたします
(4) 異動後の所有株式数	172 株 (議決権の数: 172 個 / 議決権所有割合: 86.0%)

## 6. 日程

### (1) 本株式交換

	変更前	変更後
株式交換契約承認取締役会(両社)	2022年5月13日(予定)	未定
株式交換契約締結(両社)		
株式交換契約承認臨時株主総会 (ユニヴァ・ペイキャスト)	2022年6月14日まで(予定)	未定
効力発生日	2022年6月15日(予定)	未定

### (2) 本株式譲渡

契約締結日	2022年5月13日(予定)
株式譲渡実行日	2022年5月31日(予定)

## 7. 今後の見通し

本件による連結業績への影響については軽微と見込んでおりますが、今後、公表すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上